令和６年度シラバス

教　科	科　　目	単位数	履修学年・クラス
商　業	簿記	３	３―２、３－３

１．学習の到達目標

・経営活動に伴う取引を正確、明瞭に記録・計算・整理するための知識と技術を習得させる。

・全商簿記実務検定試験３級の取得を目標とする。

２．学習の計画

	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い
１学期	１９．８桁精算表 ２０．財務諸表の作成 ・Ｐ／ＬとＢ／Ｓの作成 ・全商簿記実務検定３級模擬問題の練習と解説	・決算整理の意味とその必要性を理解させる。 ・８桁精算表を中心に、３級検定内容について理解させる。
２学期	［取引の記帳］ １０．現金・預金などの取引 １１．商品売買の取引 １２．掛け取引 １３．手形の取引 １４．有価証券の取引 １５．その他の債権･債務の取引 ・全商簿記実務検定２級模擬問題の練習と解説	・現金に関する記帳方法を理解させる。 ・３分法による記帳方法を理解させる。 ・掛け取引の意味を明らかにする。 ・手形記入帳の役割と記帳方法を理解させる。 ・有価証券の意味と計算の仕方を理解させる。 ・各種の債権・債務の記帳に習熟させる。
３学期	・検定問題練習 ・全商簿記実務検定３級模擬問題の練習と解説	・全商３級検定を取得させる。

３．評価方法・評価の観点

評 価 方 法	３つの観点のもと、考査・提出物等授業態度による評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	簿記について実務に即して基本を体系的・系統的に理解するとともに、関連する土台となる基本的な技術を身に付けている。	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力が身についている。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組むことができる。

４．使用教科書・副教材

使用教科書	新簿記（実教出版）
副　教　材	反復式　簿記問題集　全商２級